

青梅市新学校給食センター建設工事

説明会次第(議事録)

日時：令和7年1月25日（土）午後6時30分～午後7時34分

場所：根ヶ布自治会館

1 開会のあいさつ

学校給食センター 榎戸所長

主な内容は以下のとおり。

- ・旧根ヶ布調理場解体工事に対する協力の御礼およびご迷惑に対するお詫び。
- ・新築工事等契約締結の12月議会での議決および工期延長の報告。

2 関係者紹介

(市)

学校給食センター 榎戸所長、総務部施設担当 山本部長、

施設課建築担当主査 平野、学校給食センター新共同調理場担当主査 中村
(業者)

【新築建築工事】大日本土木(株)、【新築機械設備工事】八重洲工業(株)

【新築電気設備工事】(株)大三洋行、【設計監理者】(株)楠山設計

3 新学校給食センター施設概要説明

→別紙「青梅市新学校給食センター整備実施計画図」について、施設課平野
主査より説明。

4 工事概要説明

→別紙「青梅市新学校給食センター(仮称)新築工事工事説明会資料(以下「工
事説明資料」といいます。)」について、大日本土木(株)西川氏より説明。

5 質疑応答

*一番振動がありそうな工事内容はどれになるのか？

→振動につきましては、重機が動くことが一番揺れるかと思われますので、工
事説明資料P3③掘削工事で一番振動が発生するかと考えております。(大日
本土木)

*解体工事の時には相当振動があったが、それに比べて同じくらいなのか、そ
れよりはマシなのか？

→解体工事よりは振動は少ないと考えておりますが、日によっては解体工事と同じような重機、工事説明資料P4上段の2枚の写真のようなキャタピラの付いた重機を使用いたします。こちらの重機については解体工事でも使用いたしまして、移動に伴う振動については解体工事と大きな差はないと思われます。ただし、解体工事と違い重機が大きく移動することはないと思われます。杭工事につきましては穴を掘るのみのため重機が動き回ることはないと思われますし、掘削工事につきましても、ガラを分別するような作業は基本的にはないため、解体工事程ではないと考えております。

(市)

***杭工事も打ち付けるような工事ではないのか？**

→杭工事につきましては、打ち込むような工事ではなく穴を掘ってそこに鉄筋とコンクリートを流し込む工事になるので、打ち込む時の振動や音が発生することはありません。(市)

***振動について、解体工事の時に一番揺れたのは重機が移動する時もそうだが、石と土等を分別する作業の際の振動が酷かった。先程の説明で今回の工事の中でも石と土等を分別する作業があると聞いたが、それが一番揺れる。工事説明資料P3の番号で言うとどれにあたるのか？**

→③掘削工事に当たります。(大日本土木)

***全部③になるのか？重機が動くのは③だけではないのか？**

→①でも⑤でも重機が動くことがあります。(大日本土木)

***皆さん気がきにされているのは騒音もそうだし、粉塵も近隣住民には迷惑だが、やはり振動が一番堪えられない。家にいられない。他に避難しなければならない状況である。今回振動がどれくらいなのか、工事をやってみないとわからないだろうが、工程表があまりにもわかりづらい。ガントチャートのような工程表でないとわかりづらい。①～⑤の工程までは振動があると思っておいた方がいいのか？その中でも③が一番振動があると思っておいた方がいいのか？**

→お見込みのとおり③が一番大きいと思われます。ふるいにかける作業も行う予定です。(大日本土木)

***重機の仕分け作業は少なくできないのか？**

→少なくすることは難しいと思われますが、極力ゆっくりやる、静かにやることしか対策としては難しいと考えております。(大日本土木)

***①の杭工事だが、今の状態のままで打ち込むのか、今の地盤を掘削してならしてから行うのか？**

→原則、杭の重機の転倒の恐れがあるため一旦整地し、その上に鉄板を敷き、
杭重機を搬入し打設を行うこととなります。(大日本土木)

*今の地盤自体は、杭打ち上は問題ないのか？

→重機を乗せることに関しては問題ございません。不陸があるため整地いたします。(大日本土木)

*杭は何mなのか？

→16mでございますので、地下20mぐらいまで掘る予定であります。(大日本土木)

*地下20mくらいで岩盤まで達しているのか？

→支持層といわれる固い地盤までは届きます。(大日本土木)

*杭は全部で何本打つのか？

→40本になります。(8本の5ライン)(大日本土木)

*基本は4カ月で常に打設ではなくコンクリを流し込むのか？

→ドリルで穴を開け、コンクリートを流し込む形となります。(大日本土木)

*騒音・震動計を設置するが、騒音・振動に対する基準があり基準を超えないように作業することだが、万一基準を超えた場合は工事を止めるとかやり方を変える等の対応をしてもらえるのか？

→測定も規定があり説明が長くなってしまうので省略させていただきますが、瞬間的には数値を超えることはありますが、法律的には平均的な最大値にて判断いたしますので、基準値を超えるような数値が長時間続くようなことがあれば対策を検討させていただきます。ただ、瞬間的に基準値を超えることはあるかと思われますのでご了承ください。(大日本土木)

*解体工事の時にも騒音・震動計を見ていたが結構超えていることがあった。でも工事は進む。ただ設置しておくだけのものではないと思うので、基準を守れるよう配慮していただきたい。

→承知いたしました。(大日本土木)

*工事とは関係ないが、8,500食と書いてあるが、子どもの数は1万人を切っている。今後どういう人数を想定しているのか？

→現時点での給食数は大体9,000食程度であり、それから推測しますと大体8,500食より下回る可能性がありますが、施設の規模といたしましては、8,500食を上限として小中学生全員に提供できるように考えております。(市)

*解体工事の時には振動・騒音がかなりあった。反対ではないが何かあったときに現場の人間に話をするので善処していただきたい。
→承知いたしました。(大日本土木)

*現場事務所を精興社の広場に設置するようだが、囲いを予定しているのか？

→現場事務所の周囲には高さ1.8mのフェンスで囲いを設置いたします。天寧寺さんの臨時駐車場との境にも囲いをさせていただきます。(大日本土木)

*天寧寺の駐車場との境にU字溝があるがその辺りか？1.5m程度のものか？その1面のみか？

→U字溝辺りから精興社さんの倉庫および前面道路の植栽帯辺りの青色ゲートからコの字型に設置させていただきます。精興社さんの自転車置き場もありそちらは使用中とのことですので、3面のみ囲いをさせていただきます。(大日本土木)

*昨日、精興社の土地に2年間現場事務所を設置する話を聞いたが、年に1度自治会の納涼祭をその場所でやっていた。今後どうしたらいいか頭を悩ませている。

→大変申し訳ありません。(市・大日本土木)

*山留工事は防土フェンスのことか？

→山留工事はシートパイル(鋼矢板)を計画しております。

*解体工事でも行っていたが同じものか？

→同じものになります。解体工事で行ったものは給食センターの建物の周りに既存の排水用の浄化槽等が深く埋まっており、そのまま解体すると周りの土砂が崩れてしまうため解体のために設置し、解体後には引き抜いてあります。今回は新しい給食センターを建てるために建物の基礎の周りに深く山留を行うこととなります。

*どの位置に山留を行うのか？

→工事説明資料P5仮設計画図の青い部分は外部足場の図となっておりますが、この青い部分はほぼ建物の形となりますので、この部分に沿って山留(鋼矢板)を打っていくこととなります。雨水貯留槽も地下に埋設するため、それに沿っても山留を行います。(市)

*建物の周辺に行うのか？

→基本的には建物の周辺に山留を行います。(市)

*2カ月間で行うのか？

→その予定であります。(大日本土木)

*解体の時にもかなり大きな鋼矢板を使っていたようだが同じくらいか？

→解体工事では9mのものを使用いたしました。（市）

→今回は6～7mの少し短いものを使用いたします。（大日本土木）

*平均するとどのくらいの深さまで掘るのか？

→建物の基礎としては今の地盤から約2mの深さまでを予定しており、その他の付属の施設はもう少し深く掘る予定でおりますが、建物としてはその程度となります。（大日本土木）

*家の中に入ってヒビ等の検査を2回ほど行ったが、最近強盗等が多いので出来れば家の中には入って欲しくはないが、最終的にはどうなるのか？

→家屋調査につきましては、今まで解体工事を実施する前と解体工事終了後と新築工事が解体工事とは別の業者で始まるためその前に1回実施させていただきました。今後予定しているのは、新築工事が約2年後に終了いたしますが、新築工事終了後に最後に1度家屋調査をさせていただきたいと考えております。御協力いただければ助かりますが、強制ではありませんし、中には内部の調査を辞退されている方もいらっしゃいますので、ご自身で家の中を見ていいただき、工事による影響はなかったとご判断を頂ければ内部の調査は実施しなくてもいいということになると思います（市）

*家の中を見てもらわない場合は、最終的には自分の判断となるのか？

→お見込みのとおり、ご自身の判断となりますが、市といたしましては工事の前後での影響の調査を実施させていただければと考えております。（市）

*家屋調査を実施した後の調査データは最終的にどこにあるのか？業者が見に来てデータを徴取していく訳だが、どこに保管されてどのように処分されるのか？業者が行ったことだから市は関係なく業者に処分させるのか、または全部市がデータを受領し、業者はデータを保管していないのか？データの管理、最終的な廃棄はどうなっているのか？

→家屋調査につきましては、市から調査会社へ直接委託しており、最終的なデータ等は全て市に納品され市が保管し、業者は一切所持しておりません。（市）

*業者が所持していないということはどうやって確認しているのか？廃棄したのであれば廃棄証明書が発行されるはずだが？

→データの廃棄はしておりず、業者が作成したものは全て市に納品されております。（市）

*納品は分かるが、元のデータを業者が持っているのがおかしいのであれば、市としては業者は持っていないという認識だと思うが、持っていないことをどう確認しているのか？

→業者が調査データを持っていないということは未確認の状態ですので確認させていただきます。(市)

*市には業者が持っていないことを確認してもらい、データを所持してはいけないこと、また廃棄することを指導していただき、廃棄するところまで見届けていただきたい。

→承知いたしました。確認不足であったところは大変申し訳ありませんでした。(市)

*次の業者にも同じように指導願いたい。

→調査業者といたしましては、前回行った業者と同じ業者に依頼する事で考えております。解体工事の事後調査では、調査業者からは解体工事の事前調査のデータは所持していないので改めて市から借用したいとの話があり貸し出しております。確認まではできておりませんがそのような申し出があったことから、業者としてはデータ等は所持していないとの認識がありました。確実にデータを所持していないということにつきましては再度確認をさせていただきます。(市)

→(後日確認)調査業者においては、事前・事後調査それぞれについて、契約期間末日をもって、印刷物のシュレッダー処理、データの消去を行っていることを確認し、その旨の報告書を受領いたしました。(市)

* (後日問合せ) 作業時間が18時まで、後片付けが18時30分までとなっているが、地元要望に対して、解体工事と同様の時間(作業時間17時まで、後片付け17時30分まで)で想定していると市は回答しているがどうなっているのか?

→作業時間は原則17時まで、後片付けを17時30分までといたします。ただし、杭工事やコンクリート打設工事等の途中で中断ができない作業の他、施工の都合上で止むを得ない場合は17時を越えて作業することがあることをご了承ください。

なお、17時を越えて作業する場合は、その旨を仮囲いに掲示する週間工程表に記載しお知らせいたします。

また、17時を越えて作業することが事前(概ね1週間以上前)に分かっている場合については、お知らせ文を配付する等で対応させていただきます。(市・大日本土木)

6 閉会のあいさつ

根ヶ布自治会小峰自治会長 様

→土曜日の夜にも関わらず説明にお越しいただきありがとうございます。地域の皆様もこの説明会に積極的にご参加いただきありがとうございます。
今日このような会が開かれた中、新学校給食センターに対して正直反対なのか賛成なのかそれぞれの頭の中にあると思います。その中で今日の話を聞いて納得していただければよかったです。納得できなければもっとディスカッションすればいいと思います。皆さんも今日十分に話が出来た、出来なかった等あると思いますので、この後も手を挙げて質問していただければと思いますし、後日市役所に質問してもいいと思いますが、遺恨を残さず快く建設工事が進められたらいいと思っております。

給食センターができることで地域が活性化してにぎやかになればいいと自治会としては思うところであり、給食センターはモノを作る場所であり、モノを作る人はハートがあるので非常にいいことだと思っております。その中で1つお願いがあります。地域活性化するためにこれからはシルバーパワーや子育て中の方々の雇用など地域のために働く職場として提供する事や人材確保する際に地元の方々を率先して採用していただけるとありがたいと思っております。皆様もまた何かありましたら市役所等と歩み寄りながら話し合っていきたいと思いますので、今後も質問していただきながら進めていきたいと思います。今日はどうもありがとうございました。